平成 29 年度事業報告書

自　平成２９年４月１日　　至　平成３０年３月３１日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

平成 29 年度 事業報告概要

柳川市社会福祉協議会では「笑顔でつながる福祉のまち柳川」を基本理念として、福祉活動への住民の参画を得ながら、行政をはじめ地区社会福祉協議会及び福祉関係機関・団体等と連携・協働し事業推進に取り組んできました。

事業の推進にあたっては、平成 25 年に策定した「柳川市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

≪重点目標について≫

１．社会福祉法人制度改革への適切な対応

社会福祉法人制度改革への対応については、平成 29 年 4 月 1 日から「社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、本年度から定款及び役員報酬基準を本会のホームページで公表する等事業運営の透明性の向上を図るとともに、平成 28 年度決算に基づく社会福祉充実計画を策定する等適正かつ公正な支出管理の確保に努めました。

引き続き関係法令及び承認社会福祉充実計画を順守し、適切な法人運営に努めていきます。

２．地域福祉活動計画の事業検証及び次期計画の策定

平成 25 年 3 月に柳川市の地域福祉計画と一体的に策定した地域福祉活動計画の最終年度になることに伴い、これまでの 5 年間の事業推進から課題の抽出と総括を行いました。これらの課題や多様化する住民の福祉ニーズ等を踏まえ、向こう 5 年間（平成 30～34 年度）本会が地域福祉を進めるための活動指針となる第 2 期地域福祉活動計画を柳川市が策定する地域福祉計画と一体性を持たせながら、今年 3 月に策定しました。

この活動計画の基本理念である「笑顔でつながる福祉のまち柳川」の実現に向けて、住民や行政をはじめ、多様な関係者等と協働し、これまでの課題への対応と併せ、新たな福祉課題への取り組みを進めていきます。

３．介護保険制度改革に伴う新たな総合事業を含む地域支援事業への着実な対応

本市では平成 29 年 4 月 1 日から介護予防・日常生活支援事業が開始されました。要支援者の介護サービスの一部が総合事業に移行されることに伴い、これまでの介護サービスが必要な方の受け皿となって事業展開してきた事業者として、要支援者の在宅介護を支援するため、総合事業における介護予防事業への参入を行いました。

介護保険事業については、制度に基づく介護サービスの提供と併せ、既存の制度の中では対応できない介護サービスニーズに応えるために、社協独自による自費サービスの提供を通じて、要援護者の生活の支援に努めました。

また、各種受託事業については、関係部署との連携を図り、安定した在宅介護サービスの提供に努めました。

以下、平成 29 年度の事業概要について報告します。

１．法人経営部門

（１）理事会・評議員会等の開催

理事会の開催　　５回（5/18. 6/1. 8/30. 12/26. 3/22）

監事会の開催　　１回（5/9）

評議員会の開催　　３回（6/1. 9/22. 3/29）

正副会長会の開催　　１回（3/13）

企画財政委員会の開催　　２回（11/22. 1/24）

評議員選任・解任委員会　２回（9/8. 1/19）

表彰審査委員会　　１回（9/7）

（２）役員等の研修　　１回（9/27）

（３）職員の教育・研修　　４回（職員基礎、交通安全、パソコン、人権同和）

（４）他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣日数 43 日間、派遣者 8 人（正規職員）

（５）福祉人材育成のための実習受入れ

介護員養成実習 1 人、介護支援専門員養成実習 2 人

２．地域福祉活動部門

（１）ボランティアセンター管理運営

窓口対応件数 672 件　　ボランティア体験会（2 日間、28 人参加）

（２）柳川市災害ボランティア隊の派遣

朝倉市　　7/22、7/29、8/5、8/19、9/2、9/9、9/23、9/30　　派遣者 147 人

（３）ボランティア入門講座　　2 日間、参加者 17 人

（４）傾聴ボランティア養成講座　　6 日間、参加者 15 人

（５）災害に強い地域づくり講座　　4 地区、参加者 147 人

（６）よりあい活動支援講座　　3 日間、参加者 22 人

（７）市民福祉講座　　3 日間、参加者 43 人

（８）障がい者問題啓発セミナー　　2 日間、参加者 31 人

（９）福祉教育教材配布　（小学校 19 校、特別支援学校 1 校）610 冊

（10）社協だよりの発行　　年 6 回（№73～№78）

（11）市民福祉座談会　　1 箇所開催　参加者 20 人

（12）第 13 回柳川市社会福祉大会　　10/14 三橋生涯学習センター　482 人

（13）地区社協事業

全体連絡会 3 回　視察受入れ 1 回　個別支援 45 回

（14）福祉委員設置推進

305 行政区／439 人　　新任者研修 1 回　　全体研修会 1 回

（15）よりあい活動遊具貸与事業　　貸与件数 18 件

（16）子育て支援講座　　2 日間、参加者 20 人

（17）火災見舞品支給　　1 件／2 セット

（18）物故者敬供事業　　881 件

（19）助成事業

歳末たすけあい（19 地区社協、992,300 円）
福祉団体活動支援（6 団体、1,079,000 円）
ボランティア団体活動支援（3 団体、118,000 円）
ボランティア連絡協議会活動支援（96,000 円）

３．市民福祉サービス部門

（１）生活福祉資金貸付事業　　相談件数 117 件　申請件数 27 件　決定件数 25 件
（２）緊急支援品支給事業　　申請件数 9 件　実申請者数 9 人
（３）心配ごと相談事業　　開設日数 48 日　　相談件数 53 件
（４）日常生活自立支援事業　　利用者数 17 人　　延べ支援回数 305 回
（５）福祉用具貸与事業　　年間貸与延べ件数 1,227 件
（６）ハンディキャブ貸与事業　　年間貸与件数 25 件　　実利用者数 8 人
（７）福祉バス事業（市受託）　　利用日数 106 日　　利用者数 1,657 人
（８）老人福祉センター管理運営
　大和老人福祉センター　開館日数 291 日　延べ利用者数 10,392 人
　三橋老人福祉センター　開館日数 261 日　延べ利用者数 10,049 人
（９）柳城児童館管理運営　開館日数 244 日　延べ利用者数（保護者 3,710 人／乳幼児 4,200 人）
（10）ファミリーサポートセンター管理運営　活動件数 266 件　会員登録数 376 人

４．在宅福祉サービス部門

（１）介護保険・障害者総合支援事業
　居宅介護支援　　ケアプラン作成 1,483 人
　訪問介護　　利用者数 415 人　　利用回数 5,936 回
　訪問入浴介護　　利用者数 71 人　　利用回数 302 回
　障害者居宅介護　　利用者数 217 人　　利用回数 2,496 回
（２）予防給付事業
　介護予防支援　　利用者数 158 人
　介護予防訪問介護　　利用者数 214 人　　利用回数 1,332 回
　介護予防・日常生活支援総合事業　訪問型サービス（みなし）
　　利用者数 302 人　　利用回数 2,261 回
（３）在宅介護自費サービス事業　　利用回数 305 回
（４）地域生活支援事業
　移動支援　　利用回数 258 回
（５）障害者相談支援事業　　相談件数 9,551 件
（６）生活管理指導員派遣事業　　派遣回数 262 回
（７）エンゼルサポーター派遣事業　派遣回数 23 回
（８）高齢者生きがい活動支援通所事業　実施日数 235 日　延べ利用者数 2,980 人

事業報告付属明細書

≪法人経営部門≫

1．理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	第１回理事会 ○平成 29 年 5 月 18 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 7 人（総数 10 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	議案第１号　平成 28 年度事業報告並びに決算報告 ［監査報告及び監事の意見］ ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 ［主な意見］ ・生活福祉資金の償還状況について ・高齢者生きがい活動支援通所事業の市全域への拡充について ・福祉委員の活動に対する指導について ・障害者問題啓発セミナーの対象者について 議案第２号　社会福祉充実計画の承認 ・社会福祉充実残額の使途について 議案第３号　資産管理規程の一部改正 議案第４号　企画・財政委員会規程の一部改正 議案第５号　評議員選任・解任委員の選任 議案第６号　次期役員候補者の推薦 議案第７号　第１回（定時）評議員会の招集
	第２回理事会 ○平成 29 年 6 月 1 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 4 人 ○全選任議案全会一致で可決	選任第１号　会長の選任 選任第２号　副会長の選任 選任第３号　常務理事の選任
	第３回理事会 ○平成 29 年 8 月 30 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 11 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 4 人 ○全専決議案全会一致で可決	専決第１号　一般会計資金収支補正予算［第１号］ 議案第１号　柳川市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第１号訪問事業所運営規程の制定 議案第２号　後任評議員選任候補者の推薦 議案第３号　評議員選任・解任委員会の招集 議案第４号　第２回評議員会の招集
	第４回理事会 ○平成 29 年 12 月 26 日 ○柳川総合保健福祉センター	議案第１号　就業規則の一部改正 議案第２号　給与規程の一部改正 ［主な意見］

	○出席者 ・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 5 人 ○全議案全会一致で可決	・職員の給料水準について ・職員の処遇改善について **議案第 3 号　社協事業協力団体協力金交付規程の一部改正** ・婦人会の事業協力団体への位置づけについて **議案第 4 号　後任評議員選任候補者の推薦** **議案第 5 号　評議員選任・解任委員会の招集** **報告第 1 号　会長及び常務理事の職務執行状況（上半期）の報告** ［主な意見］ ・地域福祉活動計画の事業検証について ・リース契約の業者について ・社協会費収入予算達成率の 100%超過について
	第 5 回理事会 ○平成 30 年 3 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 11 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 1 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	**議案第 1 号　一般会計資金収支補正予算［第 2 号］** **議案第 2 号　平成 30 年度事業計画** ［主な意見］ ・車両の買い替えについて ・ボランティアコーディネーターの配置について ・次期福祉委員の推薦状況について ・市内の子ども食堂の実施状況等について ・地区社協への市社協職員の支援について **議案第 3 号　平成 30 年度一般会計資金収支予算** ・ボランティア活動保険への助成について ・行政区未加入世帯への社協会費の対応について ・ホームページ維持管理費の予算増について ・香典返し寄附金の減少への対応について ・介護保険事業の介護度別利用者数について **議案第 4 号　第 3 回評議員会の招集**
(2) 監事会	**第 1 回監事会** ○平成 29 年 5 月 9 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ○指摘事項なし	**平成 28 年度事業報告及び決算報告に係る監査**
(3) 評議員会	**定時（第 1 回）評議員会** ○平成 29 年 6 月 1 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 16 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・会長、常務理事 ・事務局 6 人	**議案第 1 号　平成 28 年度事業報告並びに決算報告** ［監査報告及び監事の意見］ ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 **議案第 2 号　社会福祉充実計画の承認** **議案第 3 号　次期役員の選任** **議案第 4 号　役員等報酬規程の承認**

	○全議案全会一致で可決	
	第 2 回評議員会 ○平成 29 年 9 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 15 人（総数 19 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・会長、常務理事 ・事務局 3 人 ○全議案全会一致で可決	**専決第 1 号　一般会計資金収支補正予算［第 1 号］**
	第 3 回評議員会 ○平成 30 年 3 月 29 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 15 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・会長 ・事務局 5 人 ○全議案全会一致で可決	**議案第 1 号　一般会計資金収支補正予算［第 2 号］** **議案第 2 号　平成 30 年度事業計画** ［主な意見］ ・安定的な財政基盤の確保について **議案第 3 号　平成 30 年度一般会計資金収支予算**
(4) 正副会長会	**第 1 回正副会長会** ○平成 30 年 3 月 13 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長 2 人 ・常務理事 ・事務局 5 人	**協議第 1 号　平成 30 年度事業計画** ［主な意見］ ・福祉委員への要援護者情報の提供について ・地区社協への積極的な関わりについて ・市社協と市民協との情報交換について ・フードバンク事業の連携機関について **協議第 2 号　平成 30 年度一般会計資金収支予算** ［主な意見］ ・香典返し寄附金の減少への対応について **協議第 3 号　平成 30 年 3 月理事会への提出議案**
(5) 企画・財政委員会	**第 1 回企画・財政委員会** ○平成 29 年 11 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・企画・財政委員 6 人 ※定数 8 人 ・常務理事 ・事務局 3 人 ○全議案全会一致で承認	**選任第 1 号　委員長及び副委員長の選任** **議案第 1 号　柳川市地域婦人会連絡協議会の福祉団体から事業協力団体への位置づけ変更の審議** ［主な意見］ ・位置づけ変更に伴う助成金額の増減について ・位置づけ変更の経緯について
	第 2 回企画・財政委員会 ○平成 30 年 1 月 24 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・企画・財政委員 5 人 ※定数 8 人 ・常務理事	**議案第 1 号　平成 30 年度福祉団体等助成金の審議** ［主な意見］ ・老人クラブへの加入促進について ・母子寡婦福祉会への父子家庭加入促進について

	・事務局 4 人 ○全議案全会一致で承認	
(6) 評議員選任・解任委員会	第 1 回評議員選任・解任委員会 ○平成 29 年 9 月 8 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員 4 人 ※定数 5 人 ・会長、常務理事 ・事務局 1 人 ○全議案全会一致で承認	議案第 1 号　後任評議員の選任 ・行政区長代表者　1 人
	第 2 回評議員選任・解任委員会 ○平成 30 年 1 月 19 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員 5 人 ※定数 5 人 ・常務理事 ・事務局 1 人 ○全議案全会一致で承認	議案第 1 号　後任評議員の選任 ・社会福祉事業経営団体役職員　1 人
(7) 表彰審査委員会	第 1 回表彰審査委員会 ○平成 29 年 9 月 7 日 ○三橋総合保健福祉センター ○出席者 ・表彰審査委員 4 人 ※定数 6 人 ・事務局 3 人	第 13 回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査 平成 29 年度被表彰者 ボランティア等功労者　古賀 理沙 氏 〃　古賀 明 氏 平成 29 年度感謝 10 万円以上の一般寄附者　㈱マミーズ柳川店 様

2. 役員等の研修

研修名等	時期・場所等	内　容
(1) 役員及び評議員研修	平成 29 年 9 月 27 日 大木町こっぽーっとホール 参加者 ・理事 11 人 ・監事 2 人 ・評議員 8 人 ・事務局 4 人	①社会福祉法の改正に伴う役員・評議員の役割について ②生活支援体制整備事業について 講師　福岡県社会福祉協議会 地域課長　川崎展裕 氏

3. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	平成 29 年 6 月 8 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 26 人	「社協の未来を想像する」というテーマで、社協の強みと弱みを分析し、社協に必要な事業を提案した。
	平成 29 年 8 月 24 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 27 人	6 月の研修で提案された事業についてグループ協議を重ね、2 つの子育て支援事業の企画書概要を作成した。
	平成 29 年 10 月 19 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 30 人	8 月の研修で作成された企画概要を基に、職員研修企画委員が「子育て支援ゆずり合い事業」と「産前産後家事支援事業」の説明を行った。
(2) パソコン研修	通年 参加者　常勤職員 20 人	職員のパソコン技能を向上させることで、事務の効率化及び作業能率を向上させるために、ソウェルクラブ主催の e－ランニングを受講した。 ①Word 2013（中級）　延べ 9 人 ②Excel 2013（中級）　延べ 11 人 ③PowerPoint 2010（基礎）　延べ 5 人
(3) 交通安全研修	平成 29 年 12 月 14 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 30 人 非常勤職員 7 人	柳川市主催の交通安全研修に参加。 ①管内の交通事故の状況 ②事故防止のための心がけと事故後の措置 ③飲酒運転の撲滅 講師　福岡県柳川警察署
(4) 人権・同和研修		
ⅰ 人権を考えるつどい（柳川市主催）	平成 29 年 12 月 10 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　役職員 3 人	「夢に向かって」（講演） 講師：プロ車いすランナー　廣道　純 氏
ⅱ 企業等の事業主に対する人権･同和問題研修会（大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催）	①平成 29 年 5 月 19 日 まいピア高田 参加者　職員 1 人 ②平成 30 年 2 月 14 日 大牟田文化会館 参加者　職員 1 人	①「企業における人権教育」（講演） 講師：谷口　研二 氏 ②「新しい視点で、人権について考える」（講演） 講師：西尾　紀臣 氏

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

4. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先等	時期・派遣者等	内　容
(1) 朝倉市災害ボランティアセンター	派遣期間：平成 29 年 7 月 12 日～10 月 29 日 派遣日数：43 日間 派遣者数：正規職員 8 人	平成 29 年九州北部豪雨災害により、特に被害が大きかった朝倉市を支援するため、朝倉市災害ボランティアセンター運営に携わる職員を派遣した。

5. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・場所等	内　容
(1) 介護員養成実習	通年 担当：三橋支所 在宅福祉係	九州大谷短期大学　1 人　延べ 3 日間
(2) 介護支援専門員養成実習	通年 担当：三橋支所 在宅福祉係	個人　2 人　延べ 6 日間

≪地域福祉活動推進部門≫

１．ボランティア育成・福祉教育

［ボランティアセンター管理運営］

<table>
<tr><td colspan="2">【窓口対応件数】　計 672 件（前年比 10 件増）
・ボランティアの登録　176 件
・ボランティア活動の相談　43 件
（内訳）活動希望 30 件、活動要請 13 件
※この内マッチング件数は 38 件
・その他の相談　112 件
・ボランティアセンターへの協力要請　35 件
・ボランティア連絡協議会からの相談　49 件
・諸室・印刷機の利用　257 件
※ボランティアセンターへの訪問者数　709 人</td><td rowspan="2">【登録団体件数】　計 56 団体（前年比 14 団体増）
・地域社会ボランティア　5 団体
・福祉ボランティア　18 団体
・教育ボランティア　2 団体
・文化ボランティア　16 団体
・子育てボランティア　2 団体
・環境ボランティア　2 団体
・災害ボランティア　11 団体

【ボランティア体験会】
ボランティアを始めるきっかけづくりとして開催。
① 10/21、タオル帽子を贈ろう！
講師：個人ボランティア　古賀ミチ子 氏
参加者　22 人
② 12/23、わいわい食堂～もちつき大会～
講師：市ボランティア連絡協議会
参加者　6 人
【ボランティアサロン】
ボランティア同士の交流を深めるため毎月第 3 土曜日に水の郷で開催。
参加者　延 95 人（9 月から 7 ヶ月間）</td></tr>
<tr><td colspan="2">【ボランティア保険加入件数】
・活動保険　177 件　1,018 人(230 人増)
・行事用保険　8 件
・福祉サービス補償　14 件</td></tr>
<tr><td>評価及び課題</td><td colspan="2">市民ボランティアから、交流スペースの必要性や土曜日の開所を求める声が寄せられたため、9 月から毎月第 3 土曜日にボランティアサロンを開設。交流、情報交換、相談など多くの活動者が来場した。また、タオル帽子の体験会から「柳川タオル帽子の会」の発足に繋げることができた。</td></tr>
</table>

［柳川市災害ボランティア隊の派遣］

時期・場所等	事業内容	評価及び課題
7 月 22、29 日 8 月 5、19 日 9 月 2、9、23、30 日 全 8 回 朝倉市	平成 29 年 7 月 5 日に発生した九州北部豪雨災害で特に被害が酷かった朝倉市を支援するために、7 月 22 日から 9 月 30 日までの毎週土曜日に災害ボランティア隊を結成し、朝倉市へ派遣した。 派遣者数 147 人	平成28年4月の熊本地震時にボランティア派遣が遅くなったこと教訓にし、朝倉市での災害ボランティアの受け入れ開始後、直ちに柳川市と協議し、柳川市からボランティアを派遣することができた。

［各種講座関係］

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
ボランティア入門講座	①9 月 8 日 ②9 月 15 日 全 2 回 柳川総合保健福祉センター 研修室	ボランティアを始めるきっかけづくりや知識を深めるために実施。 ①心とからだに寄り添う”手当て“ 講師　NPO 法人日本セラピューティック・ケア協会　代表　秋吉美千代 氏 ②地域で安心して暮らせる居場所　認知症カフェ 講師　ここばなカフェ（蒲池） 代表　廣松みどり 氏 ③地域と繋がるコミュニティづくり 講師　・ソイル就労継続支援 A 型事業所 ・社会福祉法人　たからばこ ④タオル帽子に思いを込めて 講師　個人ボランティア　古賀ミチ子 氏 ⑤会員登録・体験会について 参加者 17 人	①では、コミュニケーション手法を学び、②③④では、各団体の活動内容を紹介した。参加者の多くは、自分に合った活動を見つけることができ、受講後もいずれかの活動に参加するなど、ボランティア活動の推進に繋げることができた。今後も、多くの市民が参加したくなるテーマや企画の工夫を行っていく。
傾聴ボランティア養成講座	10 月 30 日 11 月 6 日、13 日、20 日、12 月 4 日、他実習 1 日 全 6 回 三橋総合保健福祉センター	【養成講座】 傾聴の心構えや基礎知識、技術等を学び地域において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に実施。 内容 : 傾聴の基本、キモチに寄り添う聴き方、ありのままを受け入れる聴き方、可能性を信じる聴き方、肯定的に捉える聴き方、幸せを感じる聴き方　など 講師　NPO 法人日本ソーシャルコーチ協会　理事長　冨岡郁雄　氏 施設実習 : デイサービスセンターサンブリッジ　参加者 15 人 【フォローアップ研修】 11 月 13 日　参加者 7 人 前回の受講者で結成された傾聴ボランティアグループの活動の支援を目的に開催。	昨年に引き続き、地域や福祉施設等で傾聴ボランティアとして活動できるボランティアの育成を行った。修了後、今回の受講者数名が昨年の受講者で結成された傾聴ボランティアグループと共に活動されることになり、活動者の増加につながっている。 グループ活動の支援と併せ、引き続き傾聴ボランティアの育成に努めていく。
災害に強い地域づくり講座	①7 月 30 日 皿垣地区 ②10 月 29 日 大和地区 ③11 月 10 日 中島地区 ④3 月 25 日 南野行政区 全 4 回 各地区コミュニティセンター･行	突然の災害に備え、住民同士の支援活動が円滑に進められるよう、必要な知識の普及を図るために実施。 講師　柳川市役所福祉課高齢者福祉係 ①皿垣地区 ・避難行動要支援者について ・災害図上訓練 参加者　45 人 ②大和地区 ・避難行動要支援者について ・災害図上訓練 参加者　35 人	昨年度から 2 回目を行っているが、未実施の地区もあるため、各地区への実態調査を踏まえながら、地域防災に役立てていただけるよう実施を働きかけていきたい。今年度は、行政区での開催もあ

	政区公民館	③中島地区 ・避難行動要支援者について ・災害図上訓練 参加者　25 人 ④大和地区南野行政区 ・避難行動要支援者について ・災害図上訓練 参加者　42 人	った。
よりあい活動支援講座	1 月 25 日 2 月 7 日、14 日 3 回 三橋総合保健福祉センター	よりあい活動の必要性やその効果を理解し、更には実践力を習得した地域の福祉関係者を養成するために実施。 【視察】沖端地区よりあい活動「ごきげんよう！またねーお寺で」 【講義・演習】 講師　NPO 法人ココフル 代表理事　下釜純子　氏 ・サロンで簡単にできる ボールを使った体操 ・サロンで簡単にできる ボールを使ったレクレーション 参加者 22 人 ・地区社協関係者 8 人 ・地域デイサービス関係者 9 人 ・一般 4 人 ・行政 1 人	今年度も地区社協関係者、市内の地域デイサービス事業の関係者に参加を呼びかけた。受講者からは「楽しく運動ができ、また頭の体操になりました。」「地区でも是非サロンを開いて活用したい。」などの感想が出ており、この講座の効果の高さを実感できた。今後も引き続き、よりあい活動の実践者の養成に努めていく。
市民福祉講座	2 月 2 日 2 月 7 日 2 月 14 日 全 3 回 柳川総合保健福祉センター	市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。 ～明るく楽しい終活セミナー～ ①終活とは？　・津軽三味線披露 講師　MKプロデュース　杉尾　誠 氏 津軽三味線吹雪会 ②肌と手のお手入れ法・アルバムの整理法 講師　シニアライフカウンセラー 羽根　和子 氏、杉尾　誠 氏 ③食の法則　・相続、遺言ってなあに？ 講師　(株)健将 代表取締役　箕浦　将昭 氏 トミヤ行政書士事務所 行政書士　瀧本　健一 氏 参加者 43 人	暗いイメージの「終活」ではなく、まだまだ元気でいたいと思っていただけるような明るい講座になるように企画した。参加者からは、最近「終活」という言葉をよく耳にするので、興味があり参加したとの声が多く寄せられた。

障がい者問題啓発セミナー	2月9日 2月14日 全2回 柳川総合保健福祉センター	障がいに対する偏見や差別をなくし、全ての人が完全参加と平等について理解と認識を深めてもらうために実施。 ①「発達障がいのある人が見る景色（社会人編）～「この人」の生きづらさを理解する」 講師　発達障がい者支援センターあおぞら 地域支援マネージャー　松尾伸一 氏 ②「発達障がいのある人が見る景色（児童編）～ペアトレを通して「この子」を理解する」 講師　児童発達支援センターりんどう学園 園長　北野真由美　氏 参加者31人	発達障がいの特性や障がいのある方の生活のし辛さなどを学ぶ機会となった。 福祉事業者をはじめ、当事者の家族や一般市民の参加も多かった。一方で教育関係者からの申し込みがなかったことから、広報手段等が課題として挙げられる。

［福祉教育関係］

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
福祉教育教材活用事業	7月11日 市内全小学校 柳河特別支援学校	市内の19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に610冊配布	児童にわかりやすい内容で、イラストや写真もあり使い易いといった学校からの報告もあった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。

２．調査・広報・普及

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
社協だより発行 （年6回発行） 第73～78号	5月15日 7月15日 9月15日 11月15日 1月15日 3月15日	【第73号】児童福祉月間周知、平成29年度事業計画、お出かけ見守り機器貸与、社協会費依頼、よりあい活動支援講座報告等 【第74号】献血月間周知、平成28年度事業報告・決算報告、社協会費依頼等 【第75号】赤い羽根共同募金協力依頼、社会福祉大会お知らせ、傾聴ボランティア養成講座、災害ボランティア派遣、地区社協研修会、福祉教育教材寄贈等 【第76号】社会福祉大会報告、ひとり暮らし集い報告、福祉委員・民生委員研修会報告、子育て支援講座募集、福祉・ボランティア団体活動助成金案内等 【第77号】歳末たすけあい事業報告、新年挨拶、歳末たすけあい募金寄附、傾聴セミナー報告、子育て支援講座報告、災害に強い地域づくり講座報告、市民福祉講座募集等 【第78号】よりあい活動支援講座報告、市民福祉講座報告、障がい者問題啓発セミナー、福祉委員等研修報告、福祉委員活動の紹介、社会福祉大会実行委員募集等	社協クイズへの応募方法をハガキ以外でも行えるようにしてほしいとの要望があったため、SNSを利用するなど、より簡易な方法で応募が行えるシステムを検討する。

市民福祉座談会	2 月 18 日 1 箇所開催 蒲池京手団地 行政区	≪主な意見≫ ①柳川市に空き家はどれくらいあるか ②高齢者施設の空き状況はどうであるか 参加者　20 人	開催地区と日程調整を行いながら、開催回数の増加に努めていく。
各種基礎調査	平成 29 年 4 月	人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施。 ≪平成 29 年 3 月 31 日現在データ≫ ①人口　67,490 人（前年比 789 人減） ・65 歳以上の割合 31.8%（前年比 0.9%増） ・75 歳以上の割合 16.5%（前年比 0.4%増） ・14 歳未満の割合 12.3%（前年比±0%） ②世帯数　25,244 戸（前年比 122 戸増） ③一人親世帯数　767 戸（前年比 2 戸減） ④65 歳以上独居高齢者数　3,882 人 （前年比 131 人増） ⑤65 歳以上高齢者世帯数　7,019 戸 （前年比 306 戸増）	調査した福祉データを市民福祉座談会や学習会等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。
第13回柳川市社会福祉大会	10 月 14 日 三橋生涯学習センター	広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。 ①オープニング 垂見保育園児演技 ②式典（表彰 2 人、大会宣言など） ③当事者からのメッセージ 発表者　有明ワークステーション 施設長　松藤伸吾　氏 ④記念講演 テーマ「ダウン症の娘と共に生きて」 講師　書家　金澤泰子・翔子 さん 参加者　482 人	今回は講演会の反響が大きく、参加券配布が 2 日間で終了したため、予定していた立看板設置も見送った。メイン行事次第で、来場者数の予想が難しい場合もある。大き目の会場で人数調整できるようなやり方を今後検討していく必要がある。

3．小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
地区社協事業	通年	○地区社協個別支援 ・内部研修等の支援　20 件 ・視察研修等の支援　25 件 ○地区社協連絡会（全体会 3 回） 6 月 29 日、11 月 7 日、2 月 13 日 ・平成 29 年度市社協事業等について ・地区社協紹介用ホームページについて ・地区社協行事予定表について ・自主防災組織の考え方について ・歳末たすけあい事業について ・福祉委員研修会の参加要請について ・次年度の助成金・連絡会事業について ・各地区の課題共有及び情報交換 ○福祉委員全体研修会への参加 11 月 18 日、大和生涯学習センター	定期的に開催している連絡会では、各地区の課題の共有や地区社協相互の情報交換を行った。 また、地区担当職員を中心に、各地区の研修会の開催支援や視察先の調整、活動に関する相談・助言など個別支援に努めた。 地区社協を通じて、地域の福祉関係者が情報交換を行う機会

		参加者 16 人（9 地区） ○視察研修受入れ（市外） 11 月 22 日、鳥栖市社協 16 人 （豊原地区社協対応） ○みんなが主役の元気な地域づくりセミナー 2 月 21 日、福岡市、参加者 12 人（11 地区）	が増えてきているため、市社協として開催支援と併せ積極的に関わっていく必要がある。
福祉委員設置推進	通年	○福祉委員設置状況（H30.3 月末現在） 福祉委員数 439 人（305 行政区） ○研修等開催状況 1）新任者委嘱状交付及び研修会 4 月 28 日、サンブリッジ、参加者 18 人 ・福祉委員活動の留意点 他 2）福祉委員全体研修会 11 月 18 日、大和生涯学習センター 参加者 161 人（内地区社協関係 16 人） ・福祉活動における個人情報及びプライバシーの取扱いについて 講師　弁護士法人しらぬひ柳川事務所 桑原義浩 氏 ・活動報告　上塩塚東行政区 福祉委員　川口鶴子　氏 宮籠・矢留本町地区 民生児童委員 加藤君代 氏	福祉委員の設置に関して、行政区の理解は進んでいると思われる。しかし、設置人数の均衡がとれていない状況もあるため、次期改選に向けて、一定の設置基準を示していく必要がある。 また、福祉委員個々の活動の定着と地域の支援者相互の連携強化を図っていくことも課題であるため、研修会等の充実図り支援に繋げていきたい。
よりあい活動支援室内遊具貸与事業	通年	貸与件数 18 件 （内訳：地域デイ 11、老人会 4、その他 3） 遊具利用回数 ガンバルーン 14 回、輪なげ 6 回、ストライクナイン 1 回、コーンボール 1 回	遊具一覧表を関係団体等に配布し、遊具の利用促進に努める。

4．当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
子育て支援講座	12 月 8 日 12 月 15 日 全 2 回 柳川総合保健福祉センター	親と子どもの関係の重要性を自覚し、子どもとともに成長する喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができるよう支援するために実施する。 ①「簡単！お掃除・お片付け塾！」 講師　整理収納アドバイザー 米倉 未来 氏 ②「子どもの言葉の発達とコミュニケーションの取り方」 講師　あけぼの苑苑長 言語聴覚士　夏目　尚 氏 参加者 20 人	平日開催だと就労している方が参加しにくいため、土日開催について検討する。

火災見舞品支給事業	通年	火災に遭われた被災世帯に対して、急場の生活維持のために、救援物資の支給を行う。 支給件数　1件（2セット）	被災状況の情報を速やかに把握し、見舞品を届ける時間の短縮に努める。
物故者への敬供事業	通年	敬供件数　881件（前年比14件減） ・市内　878件（－10） ・市外　3件（－4） ※敬供品　線香及び弔意	休日等に市外葬儀場に敬供する必要がある場合に備えて、本会に数個保有しておく必要がある。
歳末助け合い事業 ※助成事業	12月1日～31日 市内19地区	新年を迎える時期に、要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末事業を支援した。 ・実施地域：柳川8地区、大和6地区、三橋5地区 ・助成額992,300円（前年比11,600円減） ・主な事業：一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者及び施設入居者等への見舞品配布(カツオパック、お茶、タオル、手紙など)	地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。 歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実につながる支援を行っていきたい。
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成29年6月～9月	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。 ・助成団体数　6団体（前年比±0） ・助成額1,079,000円（前年比44,000円減）	平成28年度から、福祉団体とボランティア団体の助成金交付規程を一本化し、福祉団体等助成金交付規程として運用している。 既存の団体に加え、新たに平成30年度に助成を希望する団体を社協だより及びホームページにて募集したが、申請は無かった。
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成29年6月	誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。 ・助成団体数　3団体（前年比±0） ・助成額118,000円（前年比4,000円増）	
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成29年6月	市内でボランティアを行う団体又は個人のつながりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額96,000円（前年比1,000円減）	

≪市民福祉サービス部門≫

１．生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金種類		相談件数				申請件数	決定件数	償還完了件数	年度末貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援資金	生活支援費	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	2 件	19 件
	住宅入居費	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
	一時生活再建費	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	3 件	
臨時特例つなぎ資金		0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	2 件
福祉資金	福祉費	33 件	3 件	0 件	36 件	6 件	6 件	1 件	24 件
	緊急小口資金	41 件	3 件	0 件	44 件	11 件	11 件	7 件	33 件
教育支援資金	教育支援費	13 件	2 件	1 件	16 件	4 件	3 件	2 件	125 件
	就学支度費	15 件	1 件	0 件	16 件	6 件	5 件	2 件	
不動産担保型生活資金	一般世帯	3 件	0 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件	2 件
	要保護世帯	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
離職者支援資金		0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	3 件
海苔養殖業者緊急生活資金		0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	3 件	14 件
合　計 （前年比）		105 件 (−17)	11 件 (−8)	1 件 (−1)	117 件 (−26)	27 件 (−9)	25 件 (−9)	20 件 (−3)	222 件 (+5)
評価及び課題		本年度は、緊急小口資金（行政機関との連携が必要な生活保護費支給までの生活費）や福祉費（生活保護世帯のエアコン等の生活必需品の購入費）の相談及び貸付が多かった。また、教育支援資金は、償還が計画的に行われていないところが多いので、償還方法について口座振替を推進する必要がある。今後も生活困窮世帯の自立につながるように、借入申込者の気持ちに寄り添って、相談支援を行っていく。							

２．緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ世帯員数	支給品区分		
			アルファ米	乾パン	飲料水
9 件 (−5)	5 人 (−2)	9 人 (−5)	54 食 (−30)	27 缶 (±0)	0 本 (±0)
評価及び課題		生活福祉資金の貸付けが決定されるまでの間など、一時的な食糧支援として定着してきており、本人の同意のもと、地域の福祉関係者に生活困窮者の情報提供を行っている。 現在支給している緊急支援品は、保存食のみのため、フードバンク等との提携について検討していく。			

３．心配ごと相談事業

場　　所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター「水の郷」	毎週木曜日 13:00～16:00	48 日（＋1）	53 件（－4）	財産、法律、家族、住宅、土地
評価及び課題	専門相談員（司法書士）1 名、民生児童委員 2 名の 3 名体制で、市民等の日常生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言指導を行い、住民の福祉向上を図ることを目的に実施している。 相談件数が開設日数を上回ってはいるものの、開設日当たりの相談件数が概ね 1 件という状況であるため、社協だより等による広報を通じて、今後更なる事業周知に努めていきたい。			

４．日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

利用者数	17 人（+4）　※年度中途の契約解除者を含む ［内訳］認知症高齢者 10 人、知的障がい者 3 人、精神障がい者 4 人
支援内容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言
支援回数	305 回（＋155）　※延べ支援回数
評価及び課題	この事業は、利用者が年々増加傾向にあり、特に月に複数回の支援を要する利用者が多くなってきている。また、当該事業に関する相談も増加傾向にあり、特に障害者相談支援事業所や地域包括支援センター等からの相談が増えている。 生活支援員は、社協職員が兼務していることから、1 人の生活支援員が対応できる利用者数に限界があるため、ボランティア活動や福祉に関心のある方を生活支援員として養成するなど、生活支援員の確保について検討する必要がある。

５．福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数	評価及び課題
車椅子	280 件（+72）	電動ベッドの利用者が年々増えているが、その利用者の中には介護度が低く 3 モーター式の電動ベッドを必要としない方も多いことから、1 モーター式の電動ベッドや電動でない簡易ベッドを貸与品目に追加することについて検討していく。
ギャッジベッド	0 件（±0）	
電動ベッド	917 件（+76）	
歩行器	27 件（+23）	
松葉杖	3 件（－7）	
乳児用ベッド	0 件（±0）	
合計（前年比）	1,227 件（+164）	

６．ハンディキャブ（福祉車両）貸与事業

実利用者数 （前年比）	年間貸与件数 （前年比）	評　価　及　び　課　題
8 人 （＋1）	25 件 （－24）	平成 30 年 2 月に市民から普通車両のハンディキャブが贈与され、貸与可能な車両が 2 台になったことから、車いす利用者の外出支援のため、広報誌等を通じて事業周知を図っていく。

７．各種機材・機器等貸与事業

貸与品目	年間貸出件数	評価及び課題
高齢者疑似体験用具	7 件（学校 3、福祉施設 4）	セット内容一覧表を各学校等に配布し利用促進を図っていく。

８．福祉バス事業（市受託事業）

利用団体	予定日数	利用日数	利用者数
単位老人クラブ及び市老連	53 日（＋3）	44 日（－1）	684 人（＋3）
福　祉　団　体　等	14 日（＋2）	14 日（＋2）	206 人（＋32）
学　童　保　育　所	12 日（－1）	9 日（－3）	211 人（－67）
民生児童委員協議会	6 日（＋2）	6 日（＋2）	84 人（＋19）
地区社協及び関係団体	32 日（＋13）	31 日（＋13）	444 人（＋140）
柳　川　市	2 日（－1）	2 日（±0）	28 人（＋1）
合　計（前年比）	119 日（＋18）	106 日（＋13）	1,657 人（＋128）
評価及び課題	本年度は、朝倉市へ災害ボランティアバスを 8 日間運行したことで、前年度よりも利用日数が増えた。 また、車両の使用年数が 20 年を過ぎ、走行距離も 232,785 ㎞を超えて老朽化が懸念されるため、事業運営上の大きな課題である。		

９．大和・三橋老人福祉センター管理運営（市受託事業）

〔大和老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	25 日	967 人	38.7 人	常連者の高齢化による死亡等により利用者数は減少傾向にある。 引き続き、トレーニングルームの利用者にも声かけして利用につなげていきたい。 また、利用者とのコミュニケーションに心がけ、丁寧な接客に努めたい。
5月	23 日	816 人	35.5 人	
6月	26 日	946 人	36.4 人	
7月	26 日	932 人	35.8 人	
8月	23 日	972 人	42.3 人	
9月	24 日	808 人	33.7 人	
10月	26 日	847 人	32.6 人	
11月	24 日	924 人	38.5 人	
12月	22 日	801 人	36.4 人	
1月	23 日	747 人	32.5 人	
2月	23 日	885 人	38.5 人	
3月	26 日	747 人	28.7 人	
合　計 （前年比）	291 日 （±0）	10,392 人 （－1,503）	35.7 人 （－5.2）	

〔三橋老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	22 日	826 人	37.5 人	利用者数は前年比で減少した。 口コミ等による新規利用者の獲得や、トレーニングルームや諸室利用者にも声かけして利用につなげていく。
5月	22 日	904 人	41.1 人	
6月	24 日	952 人	39.7 人	
7月	22 日	834 人	37.9 人	
8月	21 日	751 人	35.8 人	
9月	21 日	710 人	33.8 人	
10月	23 日	907 人	39.4 人	
11月	22 日	877 人	39.9 人	
12月	20 日	806 人	40.3 人	
1月	20 日	779 人	39.0 人	
2月	21 日	800 人	38.1 人	
3月	23 日	903 人	39.3 人	
合　計 （前年比）	261 日 （＋3）	10,049 人 （－197）	38.5 人 （－1.2）	

10. 柳城児童館の管理運営（市受託事業）

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場相談件数	児童館相談件数	評価及び課題
		保護者	乳幼児			
4 月	20 日	247 人	265 人	146 件	26 件	親の仕事復帰等で、利用期間が 1 歳半前後までと短い傾向にあり、つどいの広場の利用者は減少傾向にある。一方、新規の利用者は増えてきているので、利用期間に応じた支援の在り方を工夫していく必要がある。 事業面では、今年度から乳幼児期だけでなく、18 歳までの子を持つ親を対象に専門の相談員による個別相談を実施した。この相談は、予想以上に反応が良く、毎回 50％以上の予約状況である。今後も、親子の悩みの早期解決に取り組んでいく。
5 月	20 日	328 人	351 人	187 件	5 件	
6 月	22 日	420 人	463 人	271 件	22 件	
7 月	20 日	278 人	325 人	162 件	30 件	
8 月	22 日	255 人	315 人	150 件	9 件	
9 月	20 日	282 人	328 人	210 件	12 件	
10 月	21 日	313 人	355 人	169 件	27 件	
11 月	20 日	341 人	359 人	248 件	1 件	
12 月	20 日	260 人	302 人	195 件	1 件	
1 月	19 日	301 人	349 人	204 件	18 件	
2 月	19 日	331 人	375 人	226 件	22 件	
3 月	21 日	354 人	413 人	228 件	14 件	
合　計 (前年比)	244 日 （＋3）	3,710 人 （−489）	4,200 人 （−519）	2,396 件 （−62）	187 件 （＋53）	

【主な子育て講座等】
・いっぽ子育てセミナー（年 3 回、1 回あたり 6 コマ講座）　参加者延 216 人
・おしゃべりカフェセミナー（年 1 回、1 回あたり 8 コマ講座）　参加者延 112 人
・子どもの暮らしと遊び座談会（年 12 回）参加者延 86 人
・ベビーマッサージ講座（年 12 回）　参加者延 104 人

11. ファミリーサポートセンターの管理運営（市受託事業）

【会員登録状況】
・おねがい会員…257 人（前年比 32 人増）
・まかせて会員… 92 人（前年比 6 人増）
・どっちも会員… 27 人（前年比±0）
合計…376 人（前度比 38 人増）

【まかせて会員養成講座】
・第 1 回　5 月 9 日～5 月 26 日
3 人参加（3 人修了）
・第 2 回　9 月 22 日～10 月 13 日
5 人参加（3 人修了）

【交流会】
・第 1 回　10 月 13 日　参加人数　30 人
・第 2 回　2 月 16 日　参加人数　25 人

【活動件数】
・266 件／年（前年比 331 件減）

【主な活動内容】
・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎
・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり
・保育園登園前の預かりから保育園への送り
・保育園が休み時の日中の預かり
・兄弟の学校行事時の預かり
・保護者の冠婚葬祭時の預かり
・保護者の通院時の預かり

【評価及び課題】	保育園へのお迎えや習い事への送迎など、これまで定期的に行われていたサポート依頼が、卒園や子どもの成長に伴い必要がなくなったことで活動件数が減少してきている。次年度以降、現在登録しているが利用が無いおねがい会員への「おためし預かり」を実施するなど利用促進を図っていく。

≪在宅福祉サービス部門≫

1.介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		訪問入浴介護		障害者総合支援		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	
4月	116人	26人	389回	6人	23回	18人	204回	居宅介護及び訪問介護における事業所加算の取得を継続実施したことで、一定の収支改善が図られた。 今後も積極的なPRや広報活動を行い、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。 訪問入浴介護に関しては、利用者数の減少により厳しい状況が続いているため、今後も、居宅介護事業所への周知等を図りながら利用者獲得に努めていきたい。
5月	116人	28人	426回	6人	27回	16人	201回	
6月	123人	34人	513回	7人	27回	18人	205回	
7月	123人	34人	504回	6人	22回	17人	200回	
8月	120人	36人	540回	6人	30回	18人	224回	
9月	125人	37人	497回	8人	31回	19人	214回	
10月	127人	34人	546回	8人	33回	18人	216回	
11月	126人	37人	535回	7人	35回	19人	203回	
12月	129人	38人	564回	5人	21回	19人	221回	
1月	126人	39人	486回	4人	11回	18人	197回	
2月	124人	36人	439回	4人	18回	19人	199回	
3月	128人	36人	497回	4人	24回	18人	212回	
合計 (前年比)	1,483人 (＋140)	415人 (＋41)	5,936回 (＋1500)	71人 (－22)	302回 (－145)	217人 (+1)	2,496回 (＋30)	

2．予防給付事業

月	介護予防支援	介護予防訪問介護		総合事業 (現行訪問介護)		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	13人	40人	236回	2人	14回	0人	0回
5月	12人	38人	248回	5人	48回	0人	0回
6月	10人	32人	194回	11人	92回	0人	0回
7月	12人	26人	148回	16人	131回	0人	0回
8月	14人	24人	150回	20人	160回	0人	0回
9月	15人	19人	114回	25人	185回	0人	0回
10月	14人	14人	97回	30人	228回	0人	0回
11月	14人	8人	57回	37人	269回	0人	0回
12月	14人	6人	42回	38人	280回	0人	0回
1月	13人	5人	34回	37人	251回	0人	0回
2月	13人	2人	12回	40人	296回	0人	0回
3月	14人	0人	0回	41人	307回	0人	0回
合計 (前年比)	158人 (+18)	214人 (－232)	1,332回 (－1632)	302人	2,261回	0人 (±0)	0回 (±0)
評価及び課題	今年度は、予防訪問介護から総合事業へ移行していく年であったが、利用者は増加しており、活動回数も前年度を上回る実績となった。平成30年4月から柳川市が実施する総合事業に完全に移行することから、利用者の自立支援のために、より専門性を発揮したサービスが提供できるよう努めていきたい。						

３．在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数	評価及び課題
4 月	9 人	36 回	徐々に事業の周知も進み、利用者数、利用回数ともに増加している。 今後も引き続き、利用者の要望に柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら取り組んでいきたい。
5 月	7 人	31 回	
6 月	9 人	23 回	
7 月	8 人	22 回	
8 月	9 人	23 回	
9 月	9 人	24 回	
10 月	9 人	23 回	
11 月	7 人	17 回	
12 月	9 人	21 回	
1 月	8 人	23 回	
2 月	9 人	32 回	
3 月	9 人	30 回	
合　計		305 回 (+52)	

４．地域生活支援事業〔市受託事業〕

［移動支援事業・入浴サービス事業］

月	移動支援		障害者入浴サービス		評価及び課題
	実利用者数	利用回数	実利用者数	利用回数	
4 月	5 人	24 回	0 人	0 回	移動支援については、利用者数はほぼ前年同様となった。 今後も、利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に活動できるよう支援していく。 障害児･者の訪問入浴サービスについては、これまで問合せのみで利用につながったケースがないため、市の所管課や相談支援事業所と連携し実施につなげていきたい。
5 月	4 人	25 回	0 人	0 回	
6 月	4 人	28 回	0 人	0 回	
7 月	4 人	18 回	0 人	0 回	
8 月	3 人	7 回	0 人	0 回	
9 月	2 人	24 回	0 人	0 回	
10 月	2 人	24 回	0 人	0 回	
11 月	4 人	25 回	0 人	0 回	
12 月	5 人	23 回	0 人	0 回	
1 月	4 人	20 回	0 人	0 回	
2 月	5 人	22 回	0 人	0 回	
3 月	5 人	18 回	0 人	0 回	
合計 (前年比)		258 回 (－38)		0 回 (±0)	

［障害者相談支援事業］

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
件数／月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4 月	239 件	228 件	169 件	1 件	0 件	59 件	0 件	36 件	732 件
5 月	142 件	270 件	286 件	25 件	0 件	55 件	0 件	59 件	837 件
6 月	110 件	283 件	176 件	30 件	0 件	26 件	4 件	69 件	698 件
7 月	124 件	265 件	141 件	24 件	0 件	19 件	14 件	93 件	680 件
8 月	123 件	252 件	137 件	11 件	0 件	13 件	11 件	64 件	611 件
9 月	176 件	390 件	186 件	10 件	0 件	36 件	13 件	109 件	920 件
10 月	141 件	311 件	231 件	14 件	0 件	94 件	10 件	125 件	926 件
11 月	136 件	268 件	272 件	29 件	0 件	52 件	2 件	61 件	820 件
12 月	123 件	371 件	166 件	28 件	0 件	48 件	0 件	50 件	786 件
1 月	173 件	328 件	234 件	6 件	0 件	19 件	11 件	54 件	825 件
2 月	122 件	363 件	188 件	15 件	0 件	3 件	7 件	45 件	743 件
3 月	139 件	485 件	209 件	6 件	0 件	39 件	51 件	44 件	973 件
合計（前年比）	1,748件（−471）	3,814 件（+29）	2,395 件（+466）	199 件（−191）	0 件（±0）	463 件（+16）	123 件（+113）	809 件（＋197）	9,551 件（+159）
相談比率	18.3%	39.9%	25.1%	2.1%	0%	4.8%	1.3%	8.5%	──

【相談方法】関係機関(56%) 電話(22%) 訪問(8%) 来談(4%) 同行(1%) 電子メール(1%) その他(8%)
【支援内容】福祉サービス(54%) 障害･病気の理解(1%) 健康･医療(8%) 不安の解決(3%) 保育教育(1%) 人間関係(6%) 家計・経済(4%) 生活技術(6%) 就労(3%) 社会参加(2%) 権利擁護(1%) その他(11%)

サービス利用計画作成件数 199 件（内訳:知的 107 件、身体 31 件、精神 42 件、重度心身 13 件、高次脳 2 件、発達障害 4 件）

【評価及び課題】
サービス等利用計画の業務が中心で、その繋がりからの一般相談が多い。また、生活困窮者支援や子育て支援課等の行政や民生委員などから連携依頼があり、関係機関と連携するケースが増えている。柳川市障害者自立支援協議会では事務局を担当し、当事者と支援者が協議を重ねて住みやすいまちづくりを進めている。社協独自の事業である計画相談の比重が半数以上を占めているため、委託を受けている一般相談の迅速な対応が困難な場合があることが課題である。

５．生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業〔市受託事業〕

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣		評価及び課題
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数	
４月	７ 人	１９ 回	０ 人	０ 回	生活管理指導員派遣事業については、利用者数は前年より減少した。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要介護認定が要支援1・要支援2を受けた方、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができるよう支援していく。 エンゼルサポーター派遣事業については、利用が殆どないため、所管課と連携し利用につなげていきたい。
５月	７ 人	２３ 回	０ 人	０ 回	
６月	７ 人	２１ 回	０ 人	０ 回	
７月	６ 人	１８ 回	１ 人	１ 回	
８月	７ 人	２２ 回	０ 人	０ 回	
９月	８ 人	２５ 回	０ 人	０ 回	
10 月	８ 人	２７ 回	０ 人	０ 回	
11 月	７ 人	２４ 回	０ 人	０ 回	
12 月	７ 人	２３ 回	０ 人	０ 回	
１月	７ 人	２３ 回	１ 人	11 回	
２月	５ 人	１７ 回	１ 人	11 回	
３月	６ 人	２０ 回	０ 人	０ 回	
合計 （前年比）		２６２ 回 （－１３０）		２３ 回 （＋２２）	

６．高齢者生きがい活動支援通所事業〔市受託事業〕

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	１日平均利用者数
４月	２０ 日	４７ 人	４５ 人	２５６ 人	１２.８ 人
５月	２０ 日	４７ 人	４６ 人	２６２ 人	１３.１ 人
６月	２２ 日	４９ 人	４６ 人	２８０ 人	１２.７ 人
７月	１８ 日	５０ 人	４４ 人	２２３ 人	１２.４ 人
８月	１８ 日	５０ 人	４４ 人	２２９ 人	１２.７ 人
９月	２０ 日	５２ 人	４７ 人	２４４ 人	１２.２ 人
10 月	２１ 日	５２ 人	４７ 人	２７９ 人	１３.３ 人
11 月	２０ 日	５２ 人	４７ 人	２７０ 人	１３.５ 人
12 月	１９ 日	５３ 人	４４ 人	２５５ 人	１３.４ 人
１月	１８ 日	５３ 人	４２ 人	２２４ 人	１２.４ 人
２月	１８ 日	５３ 人	４０ 人	２１５ 人	１１.９ 人
３月	２１ 日	５４ 人	３６ 人	２４３ 人	１１.６ 人
合計 （前年比）	２３５ 日 （-２）			２,９８０ 人 （-４６６）	１２.７ 人 （-１.８）

【評価及び課題】
利用者の高齢化が進んでおり、平均年齢は85歳。デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上、認知症予防につながっている反面、高齢であるため、視力、嚥下力、下肢筋力低下など疾病のリスクも高くなり、入院や介護施設への入所などで利用者の減少になっている。また、サービスの利用者が大和地区住民に限定されているため、周知や広報活動に制約がある。民生委員や地域援助者を通じて、閉じこもりがちな人やひとり暮らしの人など新規利用者の獲得に努めていきたい。